

## 実践記録

学校名学年	小学校 / 6年	
教科等・単元名	総合的な学習：インターネットのルールとモラル	
キーワード	メール、ホームページ、個人情報、詐欺、なりすまし	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に 対応できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3-1: 予測される危険の内容がわかり、避ける
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	インターネットを利用する上での心構えを学ぶ	
使用教材	教材名	はむはむのおんらいん教室
	製作者	Benesse
	入手先（URL等）	<a href="http://www.teacher.ne.jp/students/index.html">http://www.teacher.ne.jp/students/index.html</a>

### 学習展開案

	学習活動	指導 評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを見て、気になる点はないか考える。</li> <li>・全員一斉に同じページを見て、気がついたことを挙げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上の情報はすべてが正しいとは限らないことを知らせる。</li> <li>・安易にクリックしてよいか否か、どんな危険がありそうか話し合わせる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを見ての感想や、どんな危険性があるか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットにまつわるトラブルに巻き込まれないようにするにはどんなことに気をつけたらよいか考えを発表させる。</li> <li>・基本的なルールを理解できたかどうか。</li> </ul>
おわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用するときの守るべき事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの利用には危険が伴い、ルールを守る必要があることを理解できたか。</li> </ul>

### 授業の実際

- ・それぞれのホームページを見るたびに、口々に気になる点を発言し合い、子ども達自らが問題点を探し出していった。
- ・安易にクリックすることで遭遇しうるトラブルを擬似的に経験でき、教師の説明だけで終わる授業よりも効果的だったと感じる。

### 授業の成果

- ・インターネットに潜む危険性や、安易に情報を信じてはいけないという知識は身についたと考えられる。
- ・しかしそれが日常でのインターネット利用の際のモラルや態度に直結すると考えるのは早急であると感じる。

### 指導のポイント・留意点

- ・全員同じページを見ながら考えさせることが大切である。ただ、教師が操作する画面を画面転送で見せるだけでは、効果は半減すると思われる。